

108 アリスイ

(キツツキ目)

兵庫県ランク:B

Jynx torquilla

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:C

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道、本州北部では夏鳥、本州中・南部、四国、九州では冬鳥。兵庫県では主に9-翌4月に見られる。開けた森林、林縁、農耕地などに生息する。地上や樹上でアリ類を好んで採食する。



写真提供:三谷康則

国内分布

北海道、南千島、本州北部、本州中・南西部、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、五島列島、種子島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、明石市、(西宮市)、洲本市、伊丹市、豊岡市、(加古川市)、(赤穂市)、(西脇市)、(宝塚市)、三木市、(川西市)、小野市、(三田市)、(南あわじ市)、淡路市、加東市、(猪名川町)、稲美町、香美町



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。
比較的個体数の少ない鳥で、観察記録は多くない。最近、農耕地、灌木林の改変や池沼・河川の改修などにより、越冬する場所が少なくなっている。

保護上の留意点

農耕地周辺の灌木林や河畔林を極力残すことや池沼のヨシ原を再生させるなどの努力が必要。